

第8回 運営推進会議 議事録

令和2年2月25日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」		
開催日時	令和2年2月25日(火) 14時30分～15時30分		
開催場所	デイサービスセンター「よつ葉」フロア		
参加者	利用者 1名	知見を有する者 1名	
	利用者家族 1名	地域包括支援センター 1名	
	(地域住民の代表 急病のため欠席)		事業所職員 4名
議題	1 活動報告 2 運営状況 3 ヒヤリハット報告 4 感染症対策 5 質疑応答 6 運営委員からの評価 7 今後の活動		

会 議 録

1 活動報告

- 季節に合わせた作品を継続展示
- ボランティアの音楽ユニット「夢浪漫」の演奏会(9月敬老の日)
- 弊社職員の子供が所属するスポーツ少年団による、組体操・ソーラン節の披露。山日新聞にも掲載(10月)
- 地域の防災訓練に参加(11月)
- 弊社デイ3カ所合同「新春大感謝祭」開催。餅つき大会や津軽三味線ユニット「下駄と雪駄」の鑑賞(1月)
- 地域に知ってもらうため、グット케어便りを市内新聞広告にて3万部配布(2月)
- 2月より口腔機能向上加算を開始

2 運営状況

- 介護度の内訳
 要支援1:0名／要支援2:0名
 要介護1:2名／要介護2:8名／要介護3:7名／要介護4:4名／要介護5:3名 計24名

3 ヒヤリハット報告

・外出レク中、菊の鑑賞をするため総合市民会館に行った際、駐車場での転倒事故1件
 事故が起きた時は、その都度職員間で話し合い、再発防止に努めている。

4 感染症対策

インフルエンザの発症はないが、肺炎等で入院が多数。2月より口腔機能向上加算が開始され、連携する歯科医(コマキ歯科)による月1～2回のデイへの往診や、口腔トレーニングにより誤嚥性肺炎の予防に努める。
 手洗い・うがいの徹底、マスクの着用の強化を実施している。

5 質疑応答

ボランティアの方の訪問頻度はどのくらいか? 月に2～3回。歌や音楽が好きな利用者が多いので、ギター・ピアノ・オカリナ等、楽器演奏のボランティアをお願いすることが多い。

事故の対策は? 高齢の利用者が多く、部屋の中では歩けるが、屋外の長距離歩行が難しい方もいる。そういった方には、屋外では車いす移動。歩行が不安定な利用者同士の距離を離して歩行する等、対策をしている。事故が起きた時は、その都度、職員間でミーティングを行う。職員会議でも議題に挙げて、再発防止に努めている。

以前、木曜日の定休日にデイの開放の案が出たが、状況や今後は? 職員の手が足りないため、定休日の開放は進められてないが、少しずつ地域の方によつ葉のことを知ってもらいながら、交流を進めていきたい。

口腔機能低下症のチェック項目の診断はどのように行うのか? チェックは歯科医が、専用の機材で舌の力や噛む力を診断する。
 加算は利用者の同意が必要。また認定調査票の口腔のチェック項目や、口腔機能低下症の診断も必要になるが、ほぼ全員がサービスの必要が認められる状態。

加算は全員対象か?

(裏面に続く)

(質疑応答 続き)

デイ内のご意見箱に
は投函はあるか? ご意見箱にはご意見は頂戴していない。箱に入れにくかったり、目立たなかったり
する可能性もあるので要検討。

6 運営委員からの評価

(利用者)

家にいるよりは楽しい。歌を歌うのが楽しい。三味線の演奏は良かった。満足している。

(利用者家族)

この地域はボランティアに恵まれている。障害者センターや、近くに公会堂もある。学校も近く、子供との接点も沢山あるので、様々なところに声をかけてみてはどうか。過去に民生委員をやっていたので相談にものれる。

(知見を有する者)

口腔機能向上加算取得を取得する以前も、こちらにお願いしたら、食べれなかった方が食べれるようになった。低栄養から様々な疾病や認知症等の恐れがあるので、是非加算を取って進めてほしい。入院中の利用者も、退院したらお願いしたいと思っている。家では口腔ケアはあまり出来ないことなので、デイで見てくれるのは助かる。

(地域包括支援センター)

デイ内に地域の方を招く等、何か考えていることがあれば、どう進めていけば良いか等の相談にのれる。その際、講話のお手伝いも可能。まずは、出来ることから進めていくのが良いと思う。そして、それを継続していくことが大事。

7 今後の活動

- 地域の防災訓練に引き続き参加し、交流を図る
- 地域の子供達に気軽に声を掛けてもらえるような雰囲気の良いデイにする
- 挨拶運動を引き続き実施
- 地域の人とどう関わりが持てるか、何が出来るか検討
 デイの開放・デイに招き入れる…等

次回、第9回運営推進会議は、令和2年8月の予定